

新型コロナウイルスは老人除去剤（Boomer Remover）との揶揄

2020/7/29 高齢者の一人

同窓会 HP の「コロナ関係：掲示板」に、タイトル「経済重視か生命重視か」の書き込み（7/25 by 山中サイトウオッチャー）があります。内容は、掲示板を直接に見てもらえればよいのですが、下記に転載しておきます。また、添付されていた厚生労働省 HP からの「年齢階層別死亡数」グラフ（7/22 への更新版）も載せておきます。アンダーラインは、筆者が付けたものです。

今まで、経済を取るか、コロナ対策をとるかは難しい問題ではあるけれど、これだけ新型コロナ感染者が増えてきたら、コロナ対策が優先されるのは当たり前じゃないかと考えていた。この時点でGO TO トラベルを前倒しとは、政府は何をを考えている、と悲憤慷慨していたのだが。

しかしよく考えてみれば、実はこの選択はコロナで多く死ぬのは高齢者、経済で困るのは若い人たち、どちらの世代に視点を置くかによって全く違う結果になる。コロナは高齢者にとって重症化リスクが高く・死亡率も大きい、反対に若者から中年まではそのリスクはとても低い、雇ったことも分からないうちに直ってしまう人もいる。そして、経済のダメージは現役時代の人たちに非常に大きく影響を及ぼすが、年金生活者には殆ど影響はない。さらに経済が立ち行かなくなれば、年金の財源も困ることになる。そのうえコロナで老人が死ねば給付対象がへるから財源も楽になる。こう考えると、残念ながら選択は自明になる。政府はここまで考えて政策を決めているのだろうか。そして自分達の方の特効薬やワクチンの手当の目途がついたうえでのことだろうか。話がここまで来ると、推理小説あるいは暴露小説になってしまうが・・・。

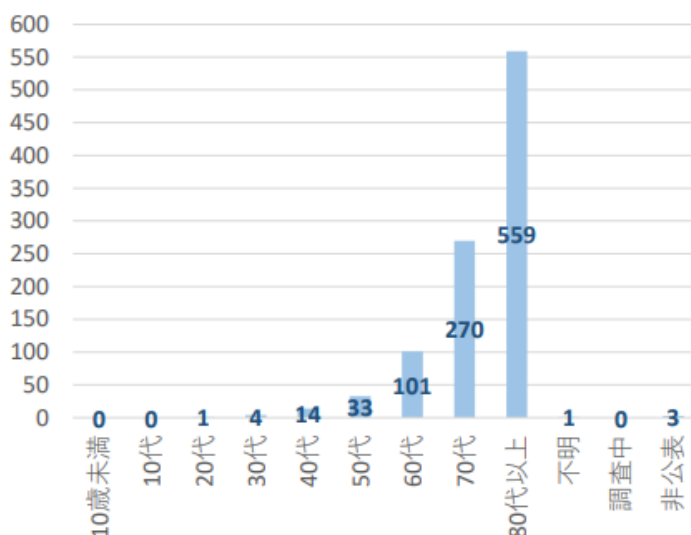
いずれにせよ、我々高齢者は、自分で自分をコロナから守るしかないという事につくる。

この書き込みでも述べられていますが、60 才代以上の高齢世代の死亡率はそれ未満の若年世代に比べて 5 倍～100 倍も高いのです。従って、新型コロナ（COVID-19）との付き合い方において、高齢者と若年者との世代間差が生じることは当然と思われれます。本来、活動範囲が広い若年者に高齢者をおもんばかって活動の自粛を要請することは、世代間に大きなストレスを生むことになります。皆が集まって、“乾杯！”とグラスを掲げ、だべりあうことは、高齢者だってしたいの

令和2年7月22日18時時点

年齢階層別死亡数

※7月22日時点で死亡が確認されている者の数



死亡率(%)

全体	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
3.8	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4	0.9	4.3	13.5	26.9

【死亡率】

年齢階層別にみた死亡者数の陽性者数に対する割合

に、若者は一層のことでしょう。二次会に出かけたいのも大いに理解できるのです。ライブハウスやカラオケ店、濃厚接触を伴う夜の街などの楽しさや魅力もわかるのです。

海外のネット上では、新型コロナウイルスを「老人除去剤（Boomer Remover）」と若者の揶揄する言葉がある時期に流行（トレンド入り）しました。ここでは、これについて紹介し、日本の場合についても考察してみます。

1. 「老人除去剤（Boomer Remover）」とは

Boomer（ブーマー）とは、第二次大戦後にその前後と比べ極端に出生数が増えたベビーブーム時代に生まれた高齢者を指す言葉です。ベビーブーム時代は、アメリカでは 1946～1964 年（参考：日本では 1947～1949 年）に相当します。現在が 2020 年ですから、56～74 才の高齢者が Boomer（ブーマー）に相当します。アメリカでは、コロナに対するこの高齢者と若年者との世代間差が日本とは少し異なるようです。

アメリカでは、「新型コロナウイルス」の感染拡大をうけ「国家非常事態宣言」が 3/13 に発表されました。若者世代（一部のミレニアル世代や特に Z 世代：Ref.1）の間で、新型コロナウイルスを「老人除去剤（Boomer Remover）」揶揄しました。これは、ブーマー（Boomer）世代以降の老人が新型コロナウイルスの感染リスクが高いということから、若い自分達には関係なくブーマーだけの問題と見下した気持ちを表しています。どうやら、この背景には、私利私欲を優先し格差社会を作り、地球環境問題の現実を受入れようとしない一部の欲深いブーマーに対する怒りが込められているようなのだと記事（Ref.3）にあります。また、高齢者の中にも「自分は大丈夫」と危機感のない人もおり、そういった自信過剰なブーマーを批判する際などに「Boomer Remover」という言葉が使われることが多いようです（Ref.4）。

日本にも「老害」という言葉で高齢者を嫌う人もいます（Ref.5）。それなりの理由があるのでしょう。どの国でも、社会での共感が欠如しているのかもしれませんがとの指摘があります（Ref.3）。

Covid-19（The Boomer Remover）のロゴが胸に書かれたフード付きパーカー（\$56.00）が売られています（右図参照：Ref.6）。

「老人除去剤（Boomer Remover）」は、確かに世代間での共感の欠如の象徴的な揶揄であり、その老人側に属する身にとっては気分が良いものではありません。



(Ref.6)

2. 日本では？

外出自粛を要請した緊急事態宣言が、4/7 に東京と大阪を含む 7 都府県を対象地域として発令

され、4/17に全都道府県に拡大されました。そしてその解除は、5/14に39県で、5/21には京都、大阪、兵庫の関西2府1県でなされました。残りの埼玉、千葉、東京、神奈川の関東1都3県と北海道については、5/25に解除されました。

右図は新型コロナウイルスの陽性者数の1日ごとの推移グラフです（厚生労働省HPより）。陽性者数は6/26頃から再び増加傾向になり、既に4月の第1波のピークを越えました。そうした中で東京都を外した「GOTOトラベル キャンペーン」が7/22から始まりまし

た。感染者の年代別比率を1週間ごとの推移グラフを右図で示します（Ref.7）。全体の感染者のうち20～30代は、6/4～7/22では4割、7週間後の7/16～7/22では6割を占めています。この7週間で全年代を合わせた総感染者数は急増していますので、20～30代感染者の絶対数はそれ以上に急増していることになります。

こうした現況下で、厚労省HPは「全国の若者の皆さんへのお願い」と題して以下を呼び掛けています。

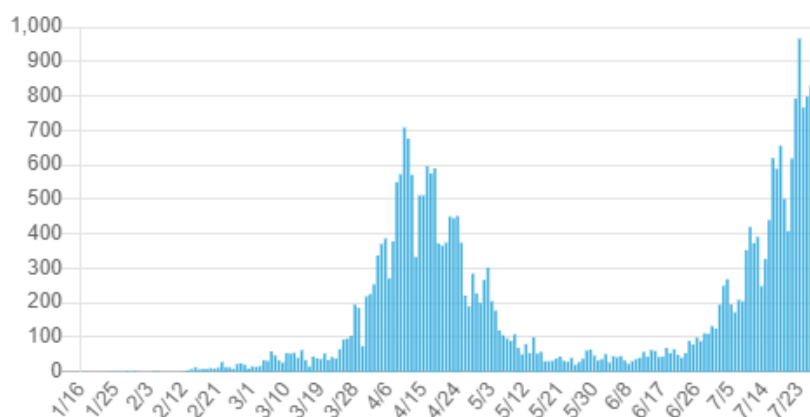
10代、20代、30代の皆さん。

若者世代は、新型コロナウイルス感染による重症化リスクは低いです。でも、このウイルスの特徴のせいで、こうした症状の軽い人が、重症化するリスクの高い人に感染を広めてしまう可能性があります。皆さんが、人が集まる風通しが悪い場所を避けるだけで、多くの人々の重症化を食い止め、命を救えます。

これは、若者世代に「死亡率の高い高齢者のために我慢して」とお願いするもので、世代間の対立につながります。現役世代には、「年金は現在の高齢者は手厚いが、少子高齢化が進む現役世代

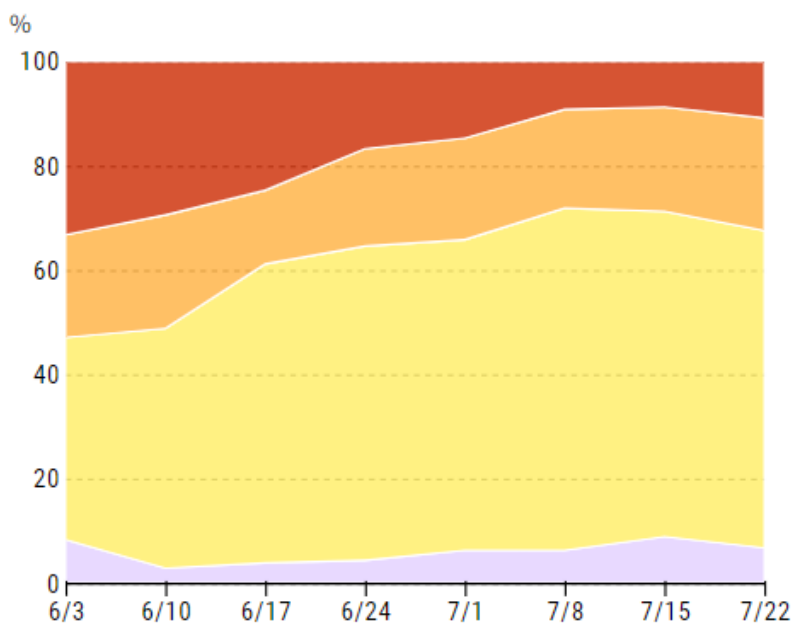
陽性者数（7月28日0:00現在）

581 人
(累計 31,007 人)



感染者の年代別比率

20代未満 20～30代 40～50代 60代以上



は所得代替率が低下する」「健康保険料が高くなったのは高齢者への支援金を取られているから」といった経済的にも高齢者世代は恵まれているという格差感覚があります（Ref.8）。

また、国の国民から借りた借金は、過去 4 年連続最大になり、2019 年 3 月末で 1114 兆 5400 億円となりました。この借金はいつ返してくれるのだろうかという大きな不安が現役世代にあります。現在も給付されている「新型コロナ対策の給付金」というお金は、将来において誰が払うのか」という問題意識もあるでしょう。

こうした借金状況の中で、話は変わりますが、今日（7/28）嫌なニュースがありました。政府が 260 億円を投じて全世帯に 2 枚ずつ配布した布マスク、いわゆる不評だったあの“アベノマスク”を、今後、介護施設や保育施設などに 8000 万枚を追加配布するということです（Ref.9）。費用対効果の検討がなされないまま、政府がお金をどんどん投入しているのです。“税金の無駄使いでは”の多くの声があがっています。全世帯に 2 枚ずつ配布の“アベノマスク”は、緊急事態とは言え、その立案から調達、納入に至るまで、異常な手続きで行われ、その説明も十分にされていません。そのため、多くの疑念が残されています（from ウィキペディア（Wikipedia）アベノマスク）。

「コロナ禍による世代間の対立や格差」を取り上げたインターネット記事は、ほかにも多くあります（Ref.10-19）。これらの中には、以下の「悪魔がささやく裏の（隠しておきたい）効果」を述べた記事（Ref.18, 19）があります。

掲示板の書き込み「**経済重視か生命重視か**」に、以下文があります。

経済のダメージは現役時代の人たちに非常に大きく影響を及ぼすが、年金生活者には殆ど影響はない。さらに経済が立ち行かなくなれば、年金の財源も困ることになる。そのうえコロナで老人が死ねば給付対象が減るから財源も楽になる。

これは、「死亡率の高い老人が多く亡くなれば、年金や医療費の給付が減って現役世代の負担減になります。よって、これは年金財政や健康保険財政の立て直しに有効に働きます」という「悪魔がささやく裏の（隠しておきたい）効果」に通じます。これら財政の立て直しは、政治の力でしなければならないところを、政府はこの「悪魔がささやく裏の効果」に期待を寄せているのでは？と疑念を覚える時があります。

政府は、コロナ感染者数が 4 月の第 1 波のピークを越えて第 2 波を迎えつつ中で「GO TO トラベル キャンペーン」を前倒しで 7/22 から東京都を外して開始しました。コロナで打撃を受けている観光産業などの支援が目的です。このトラベルにより参加できるのは、現役で働いている若者世代よりも十分な時間と多少のお金を持っている高齢者かもしれません。

第 2 波の感染者数がまだ増加している中で、政府は、「現時点（7/27）で緊急事態宣言を再び発出し、社会・経済活動を全面的に縮小させる状況にはない」と強調し、また「GO TO トラベル キャンペーン」について「現状では東京都以外の地域を除外することは考えていない」と述べています。

ワクチン開発には早くても 1 年以上はかかるとの指摘もあり、一方、長期間に渡る外出制限や飲食店などの営業活動の自粛は、日本経済に対し想像を超えた損失をもたらす可能性があります。

そうした中で、法政大学教授の黒一正氏や京都大学准教授の関山健氏などにより、命か経済かの二者択一ではなく、『新型コロナウイルス感染拡大からの「命も経済も守る出口戦略」』と題した緊急提言が出されました（Ref.20, 21）。今後、このような出口戦略が活発に議論されていくことを期待したいと思います。

参考文献

Ref.1 「X, Y & Z 世代」と「ミレニアル世代」（Ref.2）

アメリカで 1960 年～1974 年生まれを「X 世代」と名付けられたことに始まり、その後の 1975～1990 年代前半生まれが「Y 世代」、1990 年代後半～2000 年生まれが「Z 世代」と呼ばれています。

この中で「Y 世代」は「ミレニアル世代」とも呼ばれています。今まではこの「Y 世代」と「Z 世代」をひっくるめて考え、「ミレニアル世代」というワードでくくっている節がありました。

ミレニアル世代は、生まれた時からインターネットに親しんでいるということから、他の世代と嗜好性などが大きく異なるのではと考えられ、過去例に見ない程にマーケティング調査をされた層です。そして、その調査が進んだ結果、ミレニアル世代の中でも更に特徴的な要素が見受けられ、新たに区別がなされたのが 1990 年代後半以降生まれの「Z 世代」です。

Z 世代の特徴

- デジタルネイティブである。
- プライバシー保護の意識が高い。
- 音楽をオンラインで大量に消費する。
- ブランドではなく本質に価値基準を置く。
- オンタイムで仲間とコミュニケーションをとる。
- 企業家精神が旺盛。
- 9.11 を経験しているため、社会課題への意識が高い。

Ref.2 SPinno: Z世代って何？ 特徴は？ ミレニアル世代との違いは？ （2017/10/24）

(<https://www.spinno.com/blog/archives/4488>)

Ref.3 LIMO: 「ブーマーリムーバー」って何？ コロナ禍のアメリカで起こっていること (2020/04/08),

(<https://news.yahoo.co.jp/articles/6c4a7c204347a0a4920ff0547ad9925a959bb346>)

Ref.4 言葉の手帳: 「ブーマーリムーバー」の使い方や意味、例文や類義語を徹底解説！

(<https://www.tutitatu.com/「ブーマーリムーバー」の使い方や意味、例文や/>)

Ref.5 東洋経済, AERA dot.: 「#老害」ネット上に溢れる“世代間憎悪”の実態 （2019/09/26）

(<https://toyokeizai.net/articles/-/304643>)

Ref.6 Covid-19 Boomer Remover Hoodie

(<https://www.logikalthreads.com/products/covid-19-boomer-remover-hoodie>)

Ref.7 日本経済新聞: チャートで見る日本の感染状況 新型コロナウイルス

(<https://vdata.nikkei.com/newsgraphics/coronavirus-japan-chart/>)

- Ref.8 HatenaBlog, 銀行員のための教科書: 現役世代が高齢世代と対立するのは世界的な潮になるのではないか (2020/05/05)
(<https://www.financepensionrealestate.work/entry/2020/05/05/195023>)
- Ref.9 日刊ゲンダイ DIGITAL: 税金の無駄遣い…酷評 “アベノマスク” さらに 8000 万枚配布へ (2020/07/28)
(<https://www.nikkan-gendai.com/articles/view/news/276532>)
- Ref.10 after corona century (アフターコロナ時代): コロナ感染拡大で先鋭化する世代間対立 (2020/07/04) (<https://www.ep-coat.com/newlife/post-422/>)
- Ref.11 PRTIMES, 合同会社 SNAPLACE: 嫌いな世代はありますか？世代間対立の現状と理由、生の声をそのまま公開します (2020/04/28)
(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000044.000018041.html>)
- Ref.12 東洋経済, The New York Times: 繰り返し不況にさらされる「コロナ世代」の悲哀 (2020/05/30) (<https://toyokeizai.net/articles/-/353521?page=3>)
- Ref.13 HARBOR BUSINESS OnLine, 新型コロナを巡る「世代間闘争」の不毛さ。問われる「利他的行動」 (2020/04/04)
(<https://news.yahoo.co.jp/articles/8b5e727bbfb8ddb2786046276bd61c13122ec74d?page=1>)
- Ref.14 Manegy: 新型コロナウイルスの影響による世代間対立が表面化！？ (2020/05/27)
(<https://www.manegy.com/news/detail/2569>)
- Ref.15 ABEMA TIMES: 新型コロナは「ブーマーリムーバー」？ 若者が高齢者を揶揄 ポストコロナは“移動”の価値観に変化も (2020/03/20)
(<https://times.abema.tv/posts/7046784>)
- Ref.16 マネーポスト WEB: 若者 vs 高齢者「マスク買い占めるな」「夜の街で感染する奴は黙ってろ」 (2020/06/23)
(<https://news.yahoo.co.jp/articles/0570b6ec7c8692d27e055a68d4a5d9b513c4d0c2>)
- Ref.17 Bloomberg: 新型コロナで一段と広がる世代間格差、強まる若年層の痛み (2020/07/06)
(<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2020-07-06/QD12DCDWRGG301>)
- Ref.18 プライベートレッスン講師・ペンギンのつぶやき: コロナウイルス、それは老人の間引き (2020/04/01) (<https://ameblo.jp/ktk-87/entry-12586272338.html>)
- Ref.19 南越男: 日本政府は意図的にコロナを流行らせて老人を殺しにかかっている？ (2020/04/04) (<https://luckycookieman.com/2020/04/01/corona-2/>)
- Ref.20 小黒一正, 関山健: 新型コロナウイルス感染拡大からの「命も経済も守る出口戦略」 (<http://www.kazumasaoguro.com/COVID-19-3.pdf>)
- Ref.21 高橋 亮平: 新型コロナ「命も経済も守る出口戦略」や「V字回復プロジェクト」提言 2020/05/11) (アゴラ, <http://agora-web.jp/archives/2045973.html>)

07/30 追記: 介護施設向け再配布用のアベノマスク 8000 万枚は、不要論を受けて政府備蓄用に回すことになりました。(菅官房長官の 7/31 記者会見)